

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

「食」について学べる学部を捜して、その中でも食品学・調理学・栄養学の3分野を学べることに興味をもちました。カリキュラムが充実していることや、実習・実験が豊富なこと、京料理を学べることに魅力を感じ志望校に決めました。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

まだこの時は推薦入試を受けるが迷っていたので推薦のための勉強というよりは、センター対策や苦手な科目をやっていました。受ける大学は決まっていたけれど、受験に使う科目は決まっていなかったため、まんべんなくやっていました。

[夏休み]

推薦の去年の過去問(英語)を解きました。全然でまねくて、単語力が低いことを実感したので、単語に力をいれました。生物はまだ大丈夫だろうと思ってやっていませんでした。夏休みは時間がたくさんあるし、毎日ずっと勉強して感じてた時間を過ごしてしまつたと終わつてから思いました。適度に息抜きをして内容の濃い勉強をするのが一番いいと思います。

[2学期～入試直前]

入試まで2か月の時に生物が全くできないことに気づき、今までにはいっくらい焦って、生物基礎から全部やり直しました。英語は昔年あまり伸びたと思つたのでこの2か月は7割生物3割英語くらいでやっていました。推薦でいっばいだったたのでこの2科目以外は全くやりませんでした。生物に関しては学校のワーク以外にもマーク式の問題集やセンター過去問も解いてとにおく数もこなしました。ある程度身についたら推薦の過去問もやりました。最終的に入試前に推薦と一般の5年分を繰り返し解き、9割以上とれるまでやりました。間違えたことだけでも書いていくノートを1冊作っていて入試直前に見返して抜けがないようにしました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

高校の行事は全て全力でやりました。9月の文化祭の準備も最後まで残つてやっていました。その分、学校を出入り塾に行つて22時までやっていました。友達と夜ご飯を一緒に食べたり(短時間)、帰り道に話したりすることで気分転換をしていました。スマホは勉強してる時は電源を切つて、ついつい見ちゃうインスタはログアウトしていました。受験が近づくにつれ自然とスマホを見る時間は少なくなりました。やる気がでない日は好きな科目や得意な範囲をやつて勉強時間のほつちようにしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

勉強をしているときは、今やっていることは正しいのが、受からなかったらどうしようという不安が毎日毎日襲っていました。不安を取り除くのは日々の勉強だと思っていました。入試当日は、今までこれだけやってきたから大丈夫という自信をもって挑みました。最後は自分を信じて！ やつた分、結果はついてきます!! ガンバレ!!